

# マンション防災の意見交換会 開催報告

広野台地区自主防災会連絡協議会では、広野台地区のマンションの方達や防災に関心のある座間所在のマンションの方々に集まっていたいただき、講師として災害対策研究会所属でマンション防災士の釜石徹さんに、ご指導頂きました。



開催日時 平成30年11月25日(日)  
PM 1:00~3:30  
場 所 リビオシティーマンション 集会室  
参加人員 25名 (マンション 8棟)



## マンションの特性を考え、避難所に行かずに在宅避難出来る準備をする。

- 1 在宅避難を維持するための備蓄について  
備蓄は主食と副食を分けて備える方法の説明。  
主食は必要な量を常に残すようローリングストックを行う。  
副食は今自宅にある食材や缶詰で、10日分のメニューを作れるようにすることにより、災害非常食を備蓄しておかなくても7日以上のお食事が出来るようになる。
- 2 在宅避難のノウハウの普及を図る。
  - ① 「食料について」  
料理パック(ポリ袋)を利用した調理を習得  
この調理法は、子供や男性でも簡単にできるので、家族全員ができるよう広める。(今後、自主防災会でもイベントで実演してみる)  
熱源確保のためカセットコンロの常備をした方がよい。
  - ② 「飲料水について」  
風呂の水を飲料に変えられる機器の購入も考慮する。  
(高額なものではない 3,000円程度)
  - ③ 「トイレについて」  
平時から排水系統の確認をしておき、災害時は固液分離を考え、固形排泄物は防臭用ビニール袋を利用、排水は建物に大きな損傷がなければ自宅のトイレで捨てる事が可能。
- 3 平常時の防災委員会の役割  
平常から理事会や自治会の中に防災委員会を作り、継続的に活動をし、災害時に行動をするのでなく、災害時に困らないための活動を平時にやっておく。
- 4 エレベーターに閉じ込められた場合の救出方法も、訓練しておくことが必要。

ポリ袋

- 材質:高密度ポリエチレン
- 乳白色のもの



スーパーデオス

等の意見交換を行った。

文責 広野台自主防災会連絡協議会  
副会長